
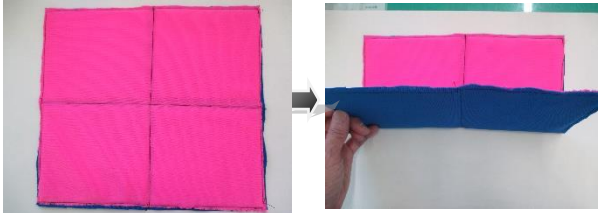


主に関係する 領域・教科	自立活動（小6）	氏名：坂下 真奈美
教材・教具名	① かたち通し ② たたんで半分	
ねらい	① 決まった形を選び、通す。② 2分の1の理解と経験をする	
教材教具の説明（写真等を使ってわかりやすく記述）		
①	 <ul style="list-style-type: none"> ・選ぶ形をひもの後方につける。 ・2色、2つの形から選べるようにする。 ・理解程度に応じて、□を追加する。 	
②	 <ul style="list-style-type: none"> ・4面に厚い台紙を入れる ・折り目に印をつける ・上下、左右のたたむ経験ができるように 	
制作のポイント		使用材料・部品
(箇条書きで記入) ① ・先端はつまみやすく、硬くテープをまく。 ・とおし穴の大きさに変化をつける。 ② ・折りたたみやすいように、台紙を入れ、折り部分に空間をつける。明確な色調にする。		① フェルト、ひも ② ピンク、青 各布、厚紙

実践	(使い方、工夫など、活用場面を写真等でわかりやすく説明 箇条書きで記入) (裏面使用も可)
	① サテライト教室でも、ビーズとおしなど経験しており、興味ある教材の一つである。かたちパズルもする中、ビーズを形に変えてみた。(2学期より実施予定。) ② 取り組むにあたり「はんぶん」と言いながら行う事で、次の半分折りも自分で発声しながら折る事ができるようになった。
効果・改善点等	(箇条書きで記入) ① 現在、ビーズ、ストローなど硬さのある素材を通す事で集中できた。△、○の理解しながら進める。 ② 簡単にたためる為、達成感があり、何度もしようとした。着替えや、教材の袋を半分に分けるなど「はんぶん」といいながら2分の1にたたむ行為はできる場面が増えた。今回の教材は、簡単である為、台紙を薄くしたり、一部磁石をつけたり、など変える必要がある。ハンカチでたためるようにする。